

# 带状疱疹予防接種について

带状疱疹の発症及び重症化予防、接種費用負担軽減を目的に予防接種費用の一部を助成します。

## 1. 带状疱疹とは

原因	水痘・带状疱疹ウイルスの感染によるものです。水痘に感染した際のウイルスが長期間体内に潜伏し、加齢や疲労、ストレス等がきっかけで再び活動、増殖して発症します。
症状	水ぶくれを伴う赤い発疹が体の左右どちらかに帯状に広がり、強い痛みを伴うことが多く、症状は3～4週間ほど続きます。皮膚症状治癒後も、带状疱疹後神経痛が長期間に続くことがあります。
傾向	80歳までに3人に1人が带状疱疹を経験するとされ、50歳以上では带状疱疹を発症した人の2割程度が、带状疱疹後神経痛に移行するとされています。

## 2. 带状疱疹ワクチンについて

現在、带状疱疹ワクチンは二種類あります。それぞれに特徴がありますので、下表を参考にご確認ください。医療機関により取り扱うワクチンが異なります。また、現在治療中の病気や体調等により希望のワクチンを接種できない可能性もあります。主治医や接種先の医師とご相談の上、接種をお願いします。

一般名	水痘ワクチン	带状疱疹ワクチン
接種回数／方法	1回／皮下注射	2回／筋肉内注射
带状疱疹発生・带状疱疹後神経痛抑制効果	50～60%	90～95%以上
持続期間	5～8年程度	9年以上
副反応	・注射部位の痛み、腫れ、発赤。 ・非常にまれにアナフィラキシーや血小板減少性紫斑病など重篤な副反応が現れることがあります。	・注射部位の痛み、腫れ、発赤、筋肉痛、全身倦怠感、悪寒、発熱。 ・非常にまれにアナフィラキシーなど重篤な副反応が現れることがあります。
費用目安 ※医療機関によって異なります	8,000～10,000円程度	1回20,000～25,000円程度
助成額	5,000円を1回	10,000円を2回
備考	・免疫不全の方は接種出来ません。 ・接種後、他の生ワクチンの接種には27日以上の間隔をあける必要があります。	〈2回目接種について〉 ・接種間隔：1回目接種から2～6か月後まで ・使用ワクチン：1回目と同じもの

参考：厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会資料、取り扱い説明書

## 3. 接種費用の助成について

対象者：50歳以上

助成回数：1回（水痘ワクチンは1回、带状疱疹ワクチンは2回分の助成で1回とします。）

助成額：上記助成額です。

※上記の助成額を超えた金額は自己負担になります。医療機関へお支払いください。

接種の目安：申請日から3か月以内を目安に接種してください。

### 注意事項

- ・配布した予診票を持参し、医療機関を受診してください。（配布した予診票を使用することで助成対象されます。）
- ・使用しなかった予診票は破棄してください。
- ・带状疱疹ワクチンを接種する場合、2回目は1回目から2～6か月後までに接種を実施してください。  
6か月を過ぎた場合は助成の対象ではありませんので、ご注意ください。

例) 1回目が4月1日の場合、2回目は9月30日まで ※10月1日は不可（6か月後の同日は不可）